

教職員の勤務状況等調査結果【令和8年4月のまとめ】

令和8年6月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。令和8年4月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。



令和8年4月の状況について

■令和7年4月との比較は、右の表のとおりです。全体的に時間外在校等時間は、減少傾向にあり、4月は年度当初で多忙な時期であることを踏まえると、各学校において業務改善や効率化の取組が進められている成果だと考えられます。

6月も中旬になり、今後は学期末テストの準備や通知票作成に向けて、業務が集中する時期を迎えます。

加えて、蒸し暑い日が続くことが見込まれますので、体調管理に十分御留意のうえ、引き続き業務に当たっていただきますようお願いいたします。

		45H超	80H超
小学校	令和7年4月	36.9%	4.3%
	令和8年4月	35.8%	4.3%
		1.1pt減	±0.0pt
中学校 (義務教育 学校含む)	令和7年4月	58.0%	14.1%
	令和8年4月	55.1%	12.5%
		2.9pt減	1.6pt減
高等学校 (中等教育 学校含む)	令和7年4月	26.7%	6.2%
	令和8年4月	25.4%	6.2%
		1.3pt減	±0.0pt
特別支援 学校	令和7年4月	8.1%	0.5%
	令和8年4月	8.7%	0.4%
		0.6pt増	0.1pt減

「時間外在校等時間80時間以上の割合の推移」について

在校等時間の記録を取り始めて5年経過しました。これまで毎月集計を行い、前年度との比較数値等を報告してきたところですが、今回は令和3年4月から令和8年4月までの推移について報告いたします。(中学校・高等学校)

◆令和3年4月～令和8年4月までの「時間外在校等時間80時間以上」の割合について、中長期の傾向を見るために中学校及び高等学校別に3か月前方移動平均を用いて示しました。(※80時間以上の割合が比較的高い中学校と高等学校)

◆グラフから読み取れる主な傾向は、以下のとおりです。

※令和8年4月の前方移動平均値は仮置きし校種別に縦軸は調整

両校種共

・グラフのピーク値およびボトム値はいずれも年々低下しており、時間外在校等時間が80時間以上の割合は着実に減少している。

・季節的な変動は依然として見られるものの、年を追うごとに変動幅は縮小傾向にある。

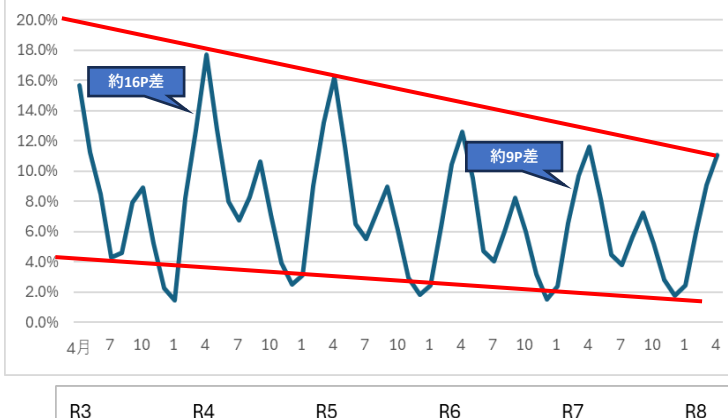
・中学校では、令和7年度のピークとボトムの差は約9ポイント（令和3年は約16ポイント差）まで縮小している。

・高等学校でも差は約4ポイント（同約7ポイント）まで縮小しており、繁閑の平準化が進んでいることがうかがえる。

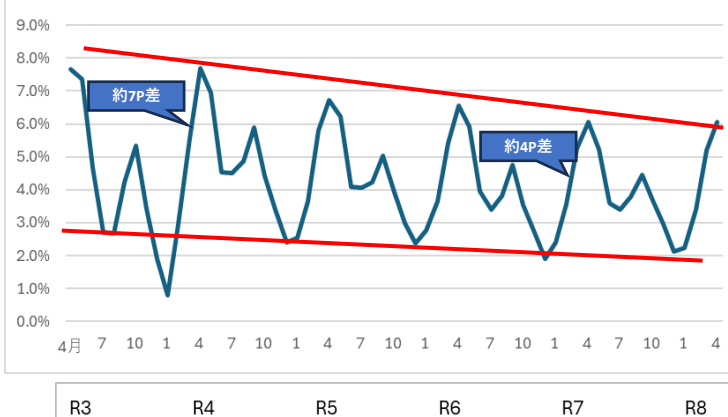


時間外在校等時間の縮減に加え、業務の繁閑差の縮小による平準化が、各学校・教職員の皆様の継続的な御尽力により着実に進んでいる。

時間外在校等時間80H以上の割合（中学校）

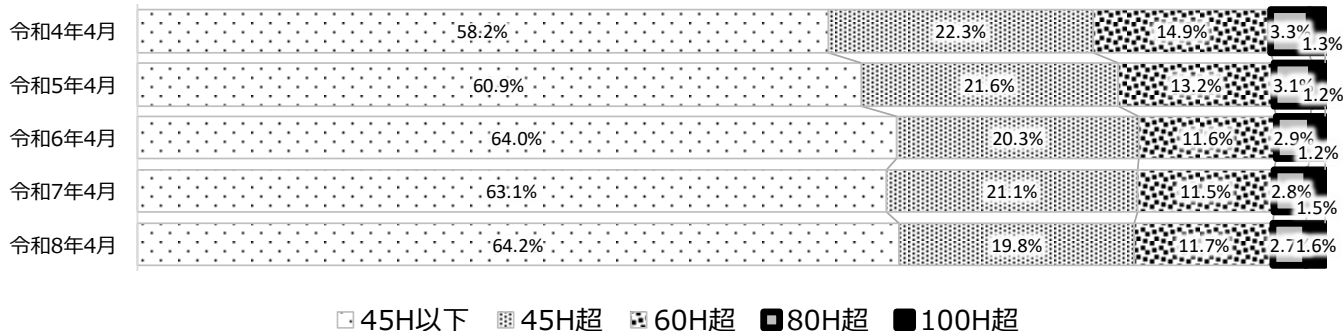


時間外在校等時間80H以上の割合（高等学校）

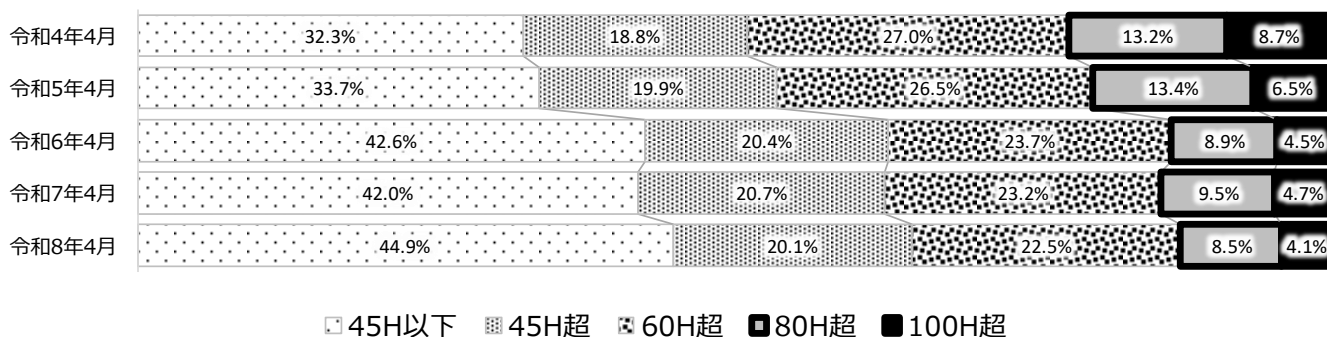


時間外在校等時間の状況【4月の経年変化】

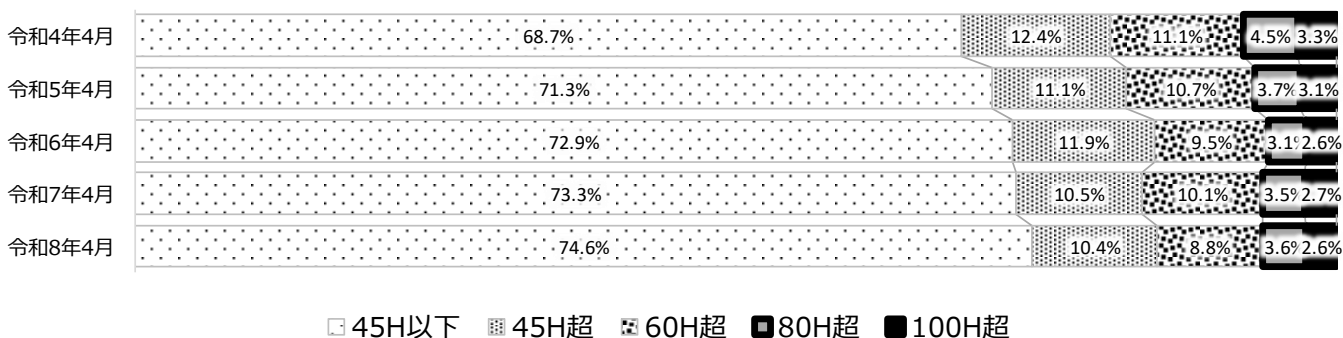
1 小学校の状況



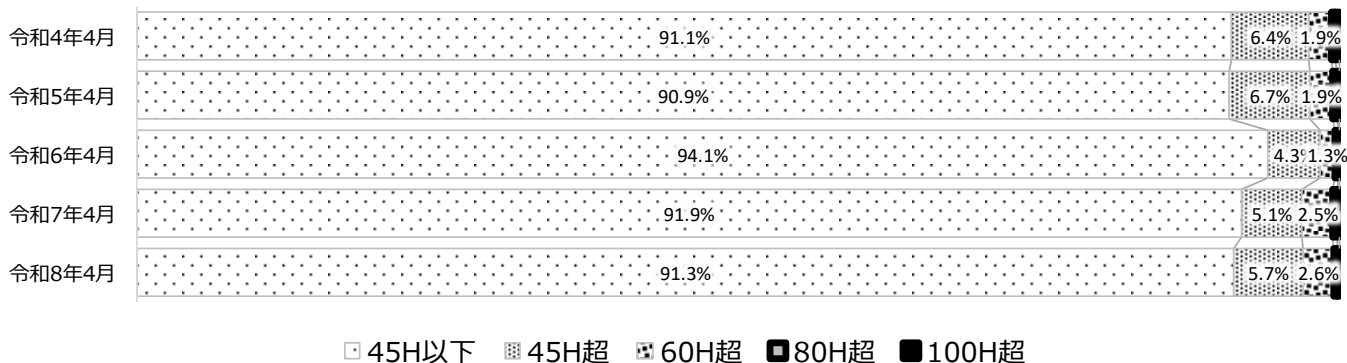
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校、市立の高校を含む）



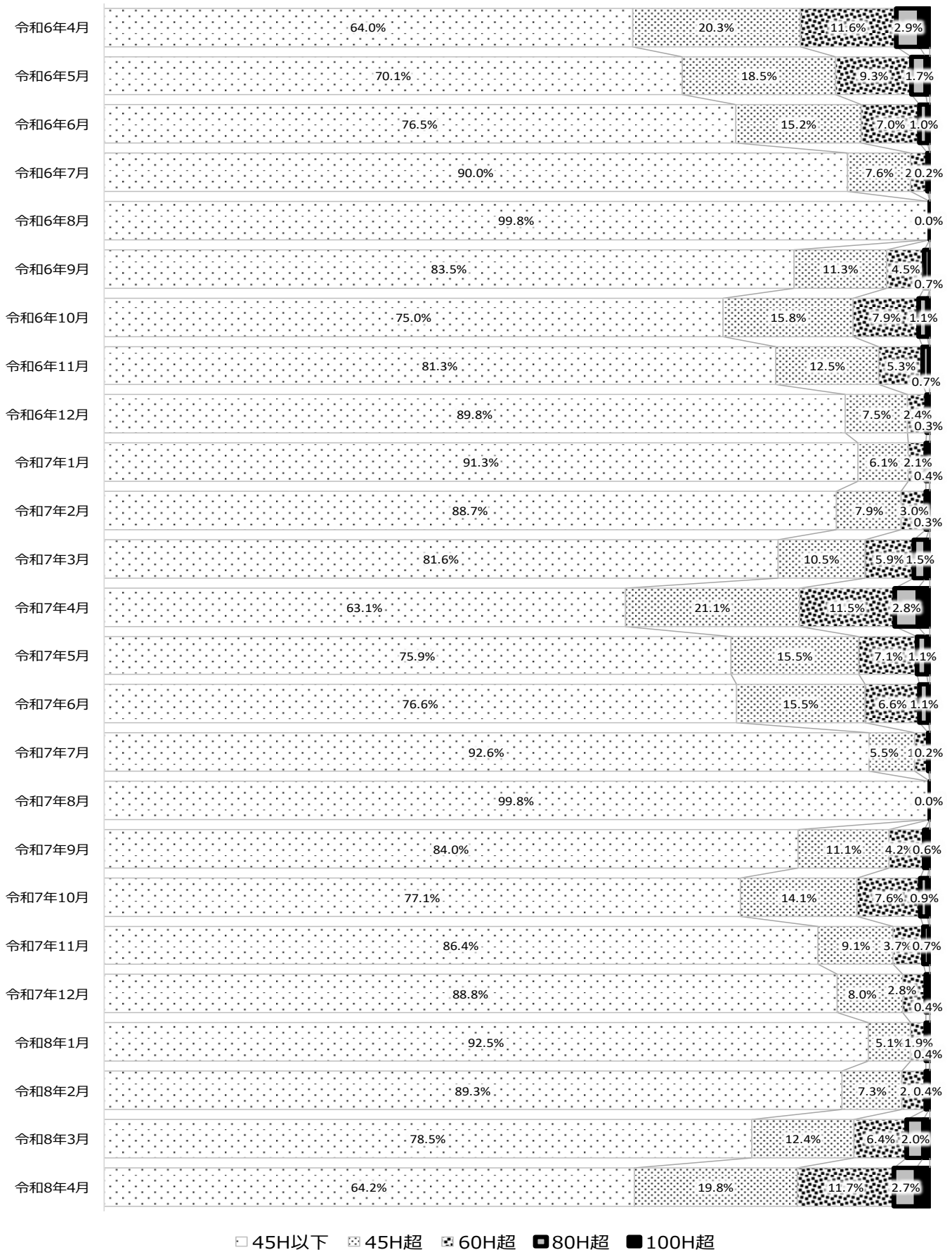
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和6年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

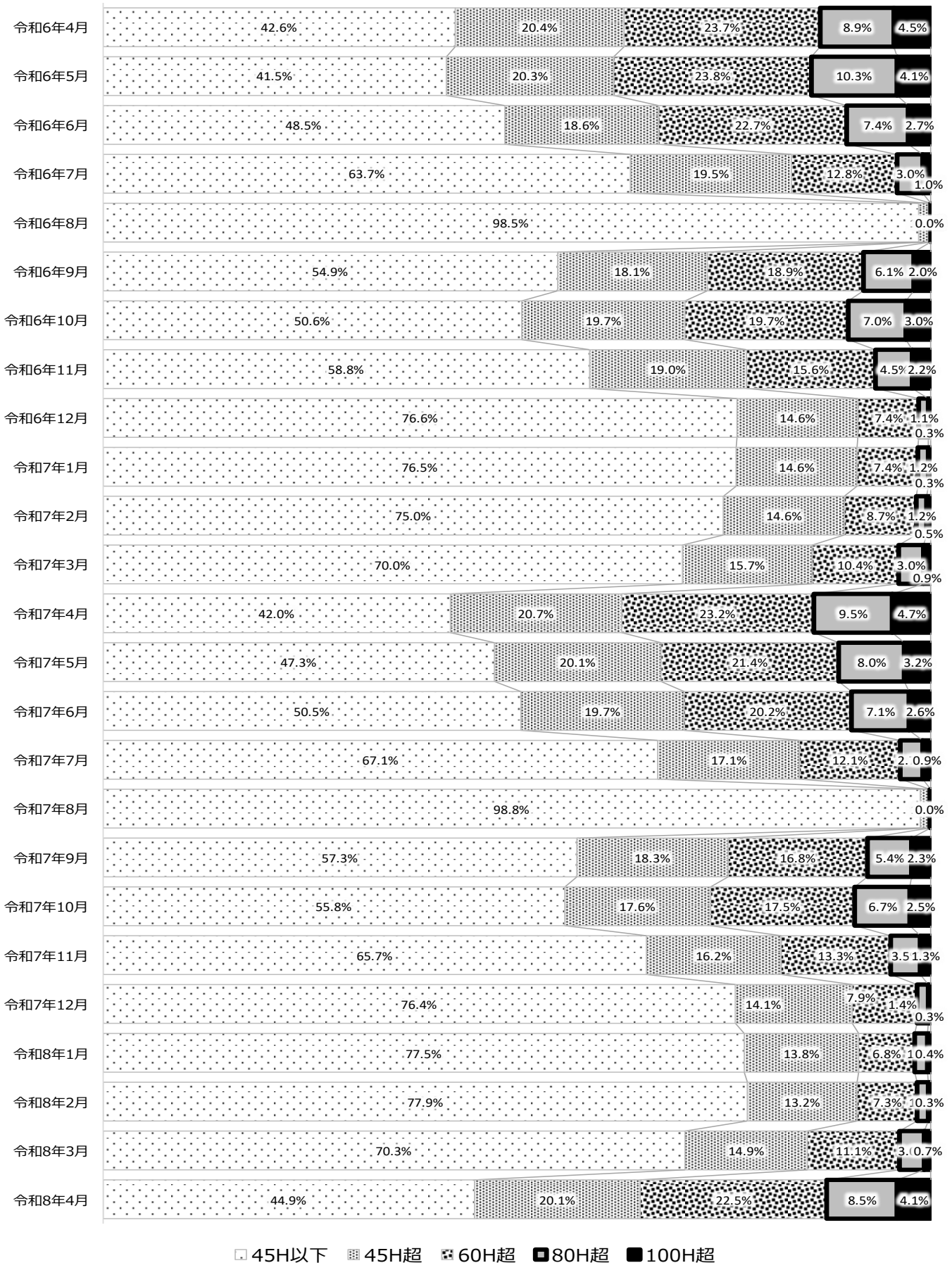
1 小学校の状況



時間外在校等時間の状況【令和6年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

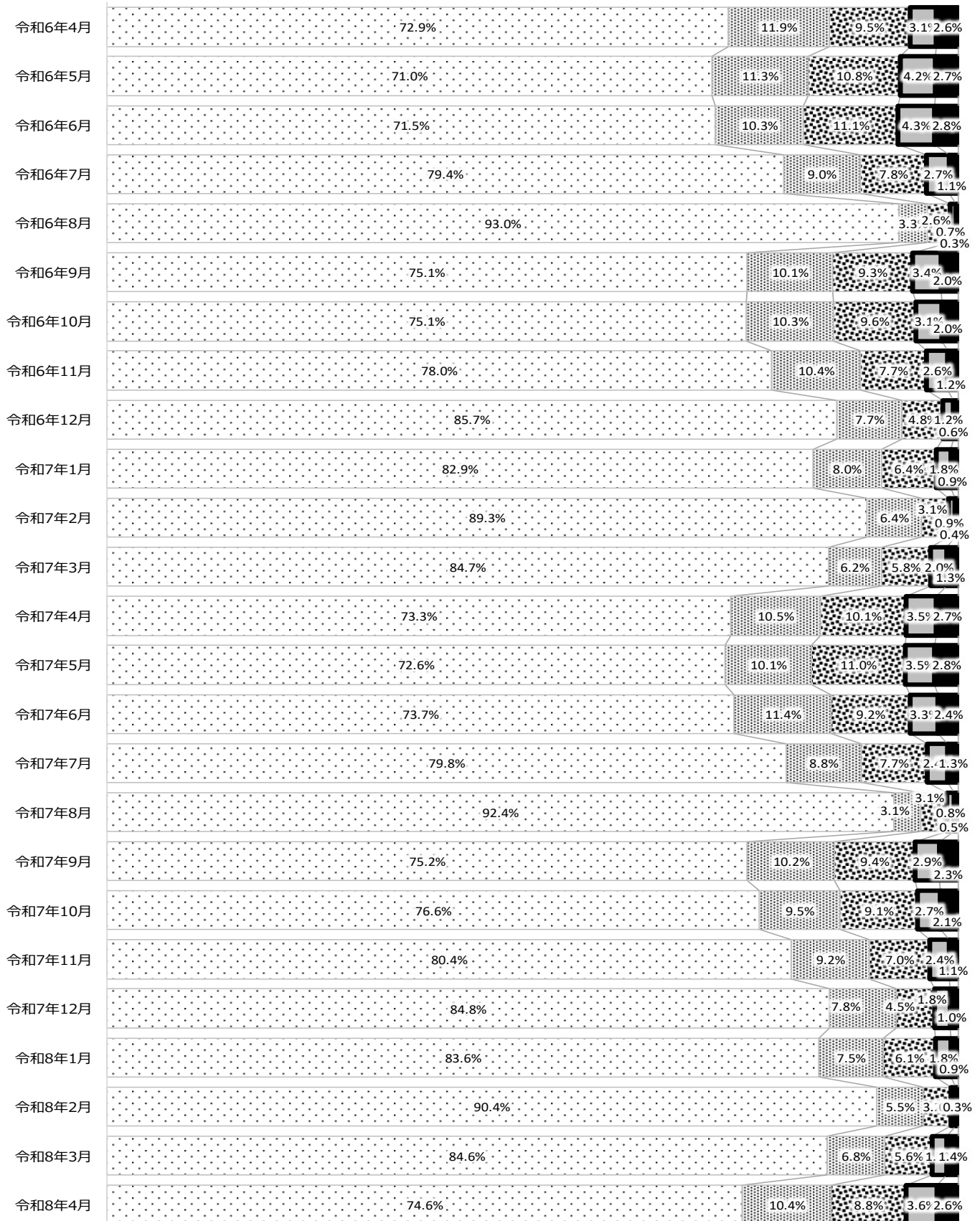
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和6年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

時間外在校等時間の状況【令和6年4月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

